

科目名	総合演習					開講 キャンパス	神園
担当者	香川 せつ子						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修
授業の概要 及びねらい	グローバルな視野と実践的な問題意識をもって、幼児や児童の指導にあたることができる教師を育成するために、国際社会で生起するさまざまな問題を取り上げ、環境、民族、言語、格差、ジェンダーなどの視点を切り口として、歴史的社会的背景と要因、問題解決の方向性について考察する。「自ら学び考える」態度と能力の育成のために、問題の発見、調査と発表、討議など、学生には主体的能動的な学習が要求される。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞やニュースに親しむことを通して、国際社会で進展している問題に実践的な関心をもち、説明することができる。 2. 環境、格差、人権など人類共通の課題を理解し、解決の方向性について主体的に考えることができる。 3. 子ども、女性、高齢者の問題を考え、家族や社会に関する最新情報をもとに、解決の方向性について考えることができる。 4. 図書、新聞、インターネットなどのメディアを活用して、これらの問題に関する情報を収集し、その内容についての解釈や判断をすることができる。 5. 収集した情報を整理し、それに対する自分の意見をまとめ、効果的に表現することができる。 6. 他人の発表を傾聴し、質問や意見を提起することができる。 7. 調査したテーマについて、幼児・児童に伝える方法を考えることができる。 						
学習方法	演習、グループワーク、各種メディアを使った調査、パワーポイントとプリントを用いた発表、討議						
テキスト及 び参考書等	必要な資料を授業時に配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○	○			40	
授業態度			○			10	
受講者の発表	○	○	○	○		40	
授業への参加度			○			10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	オリエンテーション						
第2週	現代社会の諸問題・・・環境、格差、ジェンダーの視点から						
第3週	子どもの人権とそれをめぐる動向(1)・・・教員による問題提起						
第4週	子どもの人権とそれをめぐる動向(2)・・・学生による発表・討議(新聞報道を中心に)						
第5週	女性の人権とそれをめぐる動向(1)・・・教員による問題提起						
第6週	女性の人権とそれをめぐる動向(2)・・・学生による発表・討議(新聞報道を中心に)						
第7週	高齢者の人権とそれをめぐる動向(1)・・・教員による問題提起						
第8週	高齢者の人権とそれをめぐる動向(2)・・・学生による発表・討議(新聞報道を中心に)						
第9週	グループ発表① 子どもと子育てをめぐる問題						
第10週	グループ発表② 高齢者をめぐる問題						
第11週	グループ発表③ 女性をめぐる問題						
第12週	グループ発表④ グループ発表まとめ						
第13週	個人発表 (前半グループ)						
第14週	個人発表 (後半グループ)						
第15週	まとめとふりかえり						
第16週							
備考	授業外学習として、子ども、女性、高齢者をめぐる最新データを、新聞やインターネットで調べ収集する。						